



EVENT

一日体験入学
8/6⑩ 8/20⑩

オープンスクール
10/29⑩

SNS



公式HP



facebook



Instagram



HIGHSCHOOL.REIMEI

「れいめい人」はれいめいの卒業生やれいめいで輝く人を紹介したり、イベントの告知をしたりする広報紙です。



キャリアアップコースでは、様々なビジネス系検定に挑戦しています。今回は、キャリアアップコースの3年生が2年生の時に取得した「ビジネス文書技能検定」「ビジネスマナー・ベシャリスト」について3年生の牧迫さん（平成中）と山口さん（阿久根中）の2人にインタビューしました。



キャリアアップコース通信

「2年生になると学ぶビジネスマナー・ベシャリストとは何ですか？」

ビジネスマナーの基本である礼儀作法をはじめ、お辞儀の仕方や言葉遣いなど新しい知識を学ぶことができます。また第一印象や身だしなみ、来客対応などビジネスに関するあらゆるシチュエーションでのマナーを学びます。間違えて覚えていたマナーにも気付くことができました。

「文部科学大臣賞を受賞したビジネス文書技能検定とは何ですか？」

社内文書や社外文書などの書き方、ビジネスで使う重要な表現や慣用語、定型文など正しい文書作成を学んでいきます。社会人になつたらすぐにも使える自分の武器になるスキルです。

「印象に残っていることはありますか？」

『あいさつ』です！第一印象は数秒で決まると言われています。自分の信頼度を上げたり、印象を良くしたりするために、第一印象を決める『あいさつ』をこれからも意識していきたいです。

『笑顔』も重要です！マスク生活で笑顔をサボる人が多いと聞き意識するようになりました。人と接する際にムスッとした顔は失礼にあたるので、いつも笑顔を心がけています。

「学んでよかった！役に立った！ことはありますか？」

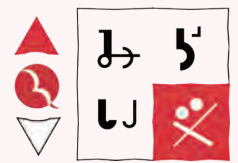
私たちは飲食店でアルバイトをしています。正しい敬語での言葉遣いや接客する際に大事な笑顔を意識しています。ビジネスマナーを学ぶ前は自分の接客での言葉遣いが曖昧でしたが、今は自信をもつて接客できています！

「今、挑戦している資格があれば教えてください！」

サービスマナー検定準一級を7月に受験します。基本言動や接客応答、接客対応の対人面接を行い、実際の接客同様の試験を受けます。授業でも、実際にお客様が目の前にいるように振る舞い練習をしていますが、まだ少し緊張や恥ずかしさがあります。

基本と型破り 2022/09/26

この日の授業は建築デザインの講演。37名（サンナナデザイン）代表の味園将矢さんに講演をしていただきました。



= みらい図 =

普通科みらい探究コース通信

味園さんは、鹿児島大学で建築学科を卒業後、大学院修士課程を修了されています。修了後は工務店で勤務され「サッカーをしたことなのにサッカーの監督はできない」ように、自分でも大工仕事を基礎から学び起業に至ります。

現在の会社は、工務店に勤務されているときにデザインと施工を同じ人が行うことで、お客様のイメージをしっかりとくみ取ったものができること知り、その経験を活かして立ち上げたのだそうです。



さらに、東日本大震災の家が流れている映像を見て、新しく建物を建てる以外にも役割を果たした建物を改修したり、解体によって回収された古材を生まれ変わらせたりすることで、思いを受け継ぐことをコンセプトの一つとしています。



他にも、E&WORKSという会社役員もしており、「建設」「アパレル」「エンターテイメント」など、異なる業種5つで成り立つ会社です。「建設もしたいけど、家を建てた後のお客様との付き合い方を考えると、イベントなどのエンターテイメント性のあることをしたい。」というように、お客様に寄り添うことを考えられるのだそうです。

味園さんのお話は、これからの会社のあり方が変化していることを実感する内容となりました。これから仕事に就く高校生に向けて、基礎からしっかりと学んで一生懸命することはもちろん大切ですが、その仕事の「型」を自分なりに変化させることにその仕事の新しい可能性があることや、人に寄り添うことの大切さを教えてくださいました。



学校法人川島学園
れいめい高等学校

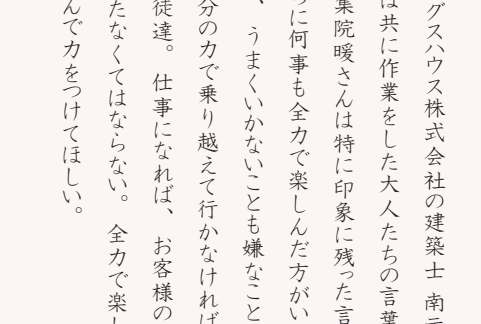
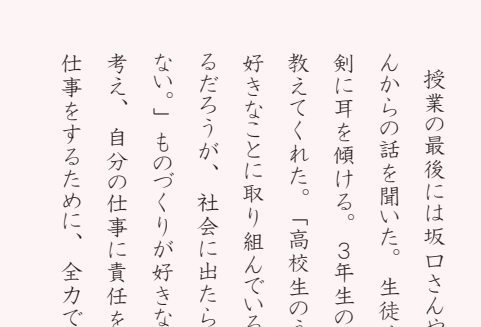
〒895-0041
鹿児島県薩摩川内市隈之城町 2205
TEL:0996-23-3178

前号で紹介した『れいめい工学科 × Chest Company 「メイクザフューチャープロジェクト」』。

薩摩川内市で飲食店経営をしている「チエストカンパニー」の代表取締役坂口聡さんとの共同プロジェクトだ。実習指導をしてくれるのは、タグスハウス株式会社」の皆さん。

本プロジェクトは「高校生や未来を担う若者が、集まる場所、夢を語る場所を作りたい」という坂口さんの思いから発進した。

今年度最初の活動は、昨年度に改修工事をお手伝いした店舗で使用する暖簾や机・椅子の制作だ。グループに分かれ、話し合いながら作業は進む。店舗に置くことを考え、幅や高さなどのサイズを使う人の視点で作っていく。



文通

アナタと文理科をつなぐ

れいめい文理科通信

合格体験記 20

挑戦し続ける

みごと、現役で難関、東京工業大学に合格した北川春樹さん。合格の秘訣や大学での新しい生活について聞いてみた。



東京工業大学 環境・社会理工学院

北川 春樹さん（れいめい中出身）

ー大学の授業はどうですか？

高校とは全然違います。高校は授業を受けていれば良かったのですが、大学では自分から進んで勉強しないといけないです。特に物理の先生はその業界ではかなり偉い先生みたいです。スライドで説明してくださるのですが、スライドの切り替わりのスピードが速いからメモが追いつかないんですよ。授業のアストラクトを三枚にまとめないといけないんですけど、みんな自分で調べて、自分で理解してまとめているんです。



▲大学で使用している教科書



どこまでも東京での新生活を楽しんでいる北川さん。れいめいから羽ばたいた後も新たなチャレンジを続けているようで、なんとも頼もしい限りである。

ワレワレもれいめい人

ーれいめい教職員コラムー

教職員達が、毎号交替で書いていくリレーコラム。内容は、勉強のことから趣味のことまで様々である。



キャリアアップコース

尾堂 加奈（伊敷台中出身）

教科：英語

好物：鳥・マヨネーズ

趣味：ROCK

『一目ぼれが運命の出会いに』

私が彼に出会ったのは中学一年生の時である。周りの友達が恋愛や嵐で盛り上がりつつある中、私はただ一人のアーティストに夢中だった。彼は私より三つ年上で甘い歌声とサラサラな前髪が特徴的だった。私は特別勉強が好きじゃなくても、小さい頃から男の子の友達と外で遊びまわってばかりの子供だった。そんな私が彼に出会ってから変わった。家から中学校までは徒歩五分の距離であったが、毎朝家を出る一時間半前に起床し、一時間パソコンの前に座って彼を眺めるようになった。毎日毎日彼の声を聴き、約一年が経ったある朝、ついに一つの問題にぶち当たった。言語だ。毎日彼の動画を見ていたが、彼が何に対して笑っているのか、どんな言葉で周りの人を笑わせたのか、全く分からないまま動画を見続けていたのである。しかし、気づいた時には英語が大好きになっていて、そして今現在、英語の教員として教壇に立っている。一目ぼれが私の人生のカギとなる出会いになったのだ。

『好き』は素晴らしいです。生徒の皆さんも『好き』な気持ちに正直に生きてください。運命の出会いが待っているかもしれません。

ありがとう。 My prince, Justin Bieber.